平成27年度

学 生 募 集 要 項

【特別選抜（推薦入試）】

長崎県立大学
UNIVERSITY OF NAGASAKI

お問い合わせ先

長崎県立大学　学生支援課　学生グループ

【経済学部】佐世保校
〒８５８－８５８０　長崎県佐世保市川下町１２３番地
Tel　０９５６－４７－５７０３　/　Fax　０９５６－４７－４６１６

【国際情報学部・看護栄養学部】シーボルト校
〒８５１－２１９５　長崎県西彼杵郡長与町まなび野１丁目１番１
Tel　０９５－８１３－５０６５　/　Fax　０９５－８１３－５２２２

◆長崎県立大学の理念と教育目標

長崎県立大学は、「人間を尊重し平和を希求する精神を備えた創造性豊かな人材の育成」、「長崎に根ざした新たな知の創造」、「大学の総合力に基づく地域社会及び国際社会への貢献」を基本理念として掲げています。

このため、人間を尊重し世界の平和を希求する精神を基本に、深い洞察力と実践力を備えた感性豊かな人材を育成します。また、理論と実践を融合した高度な教育研究を推進するとともに、長崎の地理的・歴史的・文化的特性を踏まえた新たな知の創造を目指します。

さらに、社会における諸問題に大きな関心をもち、地域社会および国際社会に貢献できる人材を育成します。

◆学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

長崎県立大学は、上記の大学理念と教育目標を意欲的に実現する次のような学生を求めています。

●人や自然を尊重できる人

●何事にも好奇心をもち、積極的に挑戦したいと考えている人

●目的をもって、忍耐強く努力したいと思っている人

●長崎の歴史・文化や地域的特性に関心をもっている人

●地域社会や国際社会に貢献したいと考えている人

◆経済学部

【教育目標】

経済学部では、専門的、総合的視野から社会、市民生活、企業での諸問題を理解し、分析し、解決する応用能力に富む人材、国際的なコミュニケーション能力と視野を備えグローバルに活躍できる人材の育成を目指します。

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

経済学部では、上記の教育目標を実現する意欲ある学生を求めています。本学部が求める学生像は以下のとおりです。

●経済、社会及び企業の問題に関して旺盛な知的好奇心を持ち、新しい課題に積極的に取り組もうとする人
●専門的知識を習得し、地域社会や国際社会の中で貢献しようとする意欲を有する人
●コミュニケーション能力、表現能力を備え、創造性豊かで柔軟な思考ができる人

経　済　学　科	**【教育目標】** 経済学科では、激動し多様化する現代社会の諸問題やニーズに的確に対応できる、理解力と応用能力に優れた実践的ビジネスパーソンの育成、経済社会に対する的確な理解力と幅広い教養を備えた人材の育成を教育目標としています。 **【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】** 経済学科では、上記の教育目標を実現する意欲ある学生を求めています。本学科が求める学生像は以下のとおりです。 ●経済・社会及び企業の問題に興味・関心のある人 ●地域社会や国際社会の中で貢献しようとする意欲を有する人 ●経済学の実践的応用能力や立案能力を要する職種で活躍しようとする人 ●商社や様々な業種の海外事業部門等においてグローバルな経済活動を目指す人
地 域 政 策 学 科	**【教育目標】** 地域政策学科では、急激に変貌する地域社会における産業・福祉・行政・文化等の発展に積極的に貢献できる人材の育成、社会に活力をもたらしリーダーシップを発揮しうる人材の育成、国際的な感覚と知見に立って、東アジアを中心とした広範な国際交流に寄与できる人材の育成を教育目標としています。 **【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】** 地域政策学科では、上記の教育目標を実現する意欲ある学生を求めています。本学科が求める学生像は以下のとおりです。 ●異なる考え方や文化を尊重する人 ●地域社会への夢や目的を持ち、その実現に向けて努力しようとする人 ●地域の諸問題についての豊富な素養を活かして、地域社会のさまざまな場で活躍したり、外国語を活かして、国際的な企業や組織で活躍しようとする人 ●実践的な政策立案能力を活かして、地方自治体やその他政府機関等の公務員や、国際的に活動する組織・団体等で活躍しようとする人
流 通 ・ 経 営 学 科	**【教育目標】** 流通・経営学科では、産業構造の高度化、複雑化、グローバル化などの構造変化と情報化の進展が著しい現在、企業活動の流通、情報、会計の分野に関する多角的な分析能力と情報活用能力を備え、社会の第一線で活躍できる行動力に富む人材の育成を教育の目標としています。 **【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】** 流通・経営学科では、上記の教育目標を実現する意欲ある学生を求めています。本学科が求める学生像は以下のとおりです。 ●流通・マーケティングや経営管理などの専門知識を活かし、企業や自治体などの組織で活躍しようとする人 ●流通・情報・会計の専門知識を活かして、社会のなかで自立しようという意欲のある人 ●情報技術の利用及び活用能力を身につけ、地域社会、国際社会のなかで活躍しようとする人

経　済　学　科 地 域 政 策 学 科 流 通 ・ 経 営 学 科	**【入学者選抜の基本方針】** 経済学部では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。 **●一般入試（前期日程）** 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（３教科３科目、４科目又は５科目の利用で、国語、数学、外国語から２教科必須）を課すとともに、個別学力検査等（小論文）では高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、考察力、論理的思考力及び記述力を評価します。 **●一般入試（後期日程）** 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（３教科３科目、４科目又は５科目の利用で、国語、数学、外国語から２教科必須）を課します。 後期Ａコース（小論文）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、考察力、論理的思考力及び記述力を評価します。 後期Ｂコース（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、英語の読解力、表現力、大意把握力など総合的な能力を評価します。 後期Ｃコース（数学）では、高等学校で習得される程度の数学の基礎を理解し、応用する力を計ります。 **●推薦入試（「離島高校」区分）** 調査書等の出願書類で志望理由、学習意欲、将来の展望、高等学校時の活動実績等を評価します。 また、面接では本学進学の目的意識、学習意欲、高等学校時の活動実績等を評価します。 **●推薦入試（アカウンティングプログラム枠）** 小論文で設問に対する理解力、分析力、論理的思考力、読解力などの能力を評価します。また、面接では目的意識、学習意欲、学科が提供する専門分野に対する適性などを評価します。 **●推薦入試** 小論文で課題に対する理解力、考察力、論理的思考力及び記述力等を評価します。また、面接では調査書等の出願書類を参考に、本学進学の目的意識、学習意欲、社会経済への関心度などを評価します。 **●帰国子女入試** 小論文で課題に対する理解力、考察力、論理的思考力及び記述力等を評価します。また、面接では本学進学の目的意識、学習意欲、学科が提供する専門分野に対する適性などを評価します。 **●社会人入試** 小論文で課題に対する理解力、考察力、論理的思考力及び記述力等を評価します。また、面接では調査書等の出願書類を参考に、本学進学の目的意識、学習意欲、将来の展望、学科が提供する専門分野に対する適性などを評価します。 **●私費外国人留学生入試** 小論文で課題に対する理解力、考察力、論理的思考力及び記述力等を評価します。また、面接では日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、本学進学の目的意識、学習意欲、高等学校等での活動実績、学科が提供する専門分野に対する適性などを評価します。

◆国際情報学部

【教育目標】

国際情報学部では、２１世紀社会の国際化・情報化に貢献できる人材の育成を目指しています。このため、「自国と外国の歴史・文化に関する充分な知識と、実践的な外国語運用能力を有し、国際的に活躍できる人材の育成」「国際社会が抱える諸問題を考察・分析する能力を身につけた、国際感覚あふれる人材の育成」「最先端の情報技術に関する充分な知識を有し、情報技術者として活躍できる人材の育成」「情報技術が社会・文化に与える影響について幅広い見識を持ち、社会の多様な分野で情報化を推進できる人材の育成」を教育目標としています。

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

国際情報学部では、上記の教育目標を実現する意欲ある学生を求めています。本学部が求める学生像は以下のとおりです。

●国際社会に大きな関心があり、語学力の修得に意欲のある人
●地域社会の諸問題を国際的な視野から分析・解決していく意欲にあふれた人
●情報技術に関する興味・関心が強く、論理的な思考能力に優れた人
●新聞・映像などの様々なメディアに関心が強く、社会の出来事について自らの考えを論理的に展開できる人

国際交流学科	**【教育目標】** 国際交流学科では、今日の国際的諸問題を深く考えることによって、国際社会の総合的理解と実践的思考力を育成します。また、長崎を基点とした日本文化の理解と、それに立脚した諸外国の歴史・文化の探求を行い、合わせて異文化コミュニケーション能力の育成を図ります。これにより、２１世紀の国際社会に対応できる人材の育成を目指します。 この目標を実現するために国際交流センターの支援を受け、英語、中国語、韓国語によるコミュニケーション能力の向上を図ります。 ２年次から「国際関係」「文化コミュニケーション」の２つのコースに分かれますが、「国際関係コース」では、国際政治、国際経済などの社会科学系科目の修得を通して、国際社会の抱える諸問題を総合的に考察・分析する能力を養い、国際社会で有用な人材の育成を目指します。「文化コミュニケーションコース」では学際的専門教育と幅広い教養教育を行うことによって、長崎をはじめとする日本の文化・歴史・社会の理解を深めるとともに、諸外国の歴史・文化・社会・言語を比較・分析し、それを地域や国際社会で活用できる人材の育成を目指します。 **【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】** 国際交流学科では、上記の教育目標を実現する意欲ある学生を求めています。本学科が求める学生像は以下のとおりです。 ●国際社会に関心を持ち、実践的な外国語運用能力を高めて国際コミュニケーション能力を修得し、その能力を国際社会に活かそうとする人 ●地域社会を国際的な視野から考察し、地域の抱える諸問題を分析し、国際化社会における地域社会の担う課題に意欲的に取り組む人 ●グローバルな視野に立った歴史・異文化理解に求められる、国内外の社会情勢・歴史・地理に対する強い好奇心と学習意欲をもって、課題に取り組む人 **【入学者選抜の基本方針】** 国際交流学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）、アドミッション・オフィス入試を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般入試（前期日程、後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（４教科４科目又は５科目）を課すとともに、個別学力検査で、高等学校で得た基礎学力（特に、英語、国語の理解力）を前提に、提示した素材により、読解力、思考力、表現力等をみます。 ●アドミッション・オフィス入試（ＡＯ入試） 第１次選考では、出願書類に基づき、出願資格・要件を満たしているか、学科が求める学生像に合致しているか、学科を志望する理由が明確であるか、入学後の学習意欲や将来の展望が的確に示されているか、などの観点から評価します。

	第２次選考では、小論文で課題に対する理解力、分析力、思考力、読解力などの能力をみて、面接で出願書類を参考に、目的意識、学習意欲、学科が提供する専門分野に対する適性などを評価します。 ●推薦入試 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、思考力、表現力等を評価します。 面接で、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、勉学意欲、基礎知識、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女入試 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、思考力、表現力等を評価します。 面接で、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、勉学意欲、基礎知識、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人入試 小論文で、高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、思考力、表現力等を評価します。 面接で、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、勉学意欲、基礎知識、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生入試 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、思考力、表現力等を評価します。 面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、勉学意欲、基礎知識、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。
情報メディア学科	**【教育目標】** 情報メディア学科では、高度情報化社会で活躍できる人材として情報・メディア・社会をトータルに考える情報のエキスパートを育成するために、「高度情報化社会で重要となる情報技術について、基礎から応用までの幅広い修得を図り、情報技術者として活躍できる人材の育成」、「健全なくらしと豊かな社会を実現するために情報技術が社会・文化に与える影響について幅広い知識を養い、多様な領域で情報のエキスパートとして活躍できる人材の育成」、「情報メディア関連の学際的教育を体系的に進めることにより、高度情報化社会にふさわしい専門的研究者の育成」を目指しています。 **【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】** 情報メディア学科では、上記の教育目標を実現する意欲ある学生を求めています。本学科が求める学生像は以下のとおりです。 ●情報メディア関連機器や情報ネットワークに興味や関心が強く、プログラミングやシステム構築などにより問題解決を図ろうとする意欲を持つ人 ●情報メディア機器を活用して、個人やチームでコンテンツを制作する知識と感性を高めたい人 ●新聞や雑誌、書籍、映像など様々なメディアに関心があり、内容や現象に関して自らの考えを論理的に展開できる人 **【入学者選抜の基本方針】** 情報メディア学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）、アドミッション・オフィス入試を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般入試（前期日程、後期日程） 大学入試センター試験と個別学力検査で評価します。大学入試センター試験では基礎学力の把握のために５教科６科目又は７科目を課しています。個別学力検査では、コミュニケーション能力、論理的思考力、読解力などの把握のために、英語、数学、国語を課しています。 ●アドミッション・オフィス入試（ＡＯ入試） 第１次選考では、出願書類に基づき、出願資格・要件を満たしているか、学科が求める学生像に合致しているか、学科を志望する理由が明確であるか、入学後の学習意欲や将来の展望が的確に示されているかなどの観点から評価します。 第２次選考では、小論文で高等学校の一般的学習を前提に、現代社会の時事的諸問題についての理解力、論理的思考力、論述能力を評価します。面接では出願書類を参考に、目的意識、学習意欲、学科が提供する専門分野に対する適性などを評価します。

	●推薦入試 　小論文で、高等学校の一般的学習を前提に、現代社会の時事的諸問題についての理解力、論理的思考力、論述能力を評価します。 　面接で、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、勉学意欲、基礎知識、表現力、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女入試 　小論文で、高等学校の一般的学習を前提に、現代社会の時事的諸問題についての理解力、論理的思考能力、論述能力を評価します。 　面接で、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、勉学意欲、基礎知識、会話的表現力、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人入試 　小論文で、高等学校の一般的学習を前提に、現代社会の時事的諸問題についての理解力、論理的思考能力、論述能力を評価します。 　面接で、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、勉学意欲、基礎知識、会話的表現力、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生入試 　本学科が示す資格・要件をすべて満たしていることを条件に、面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、勉学意欲、基礎知識、日本語による会話的表現力、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。

◆看護栄養学部

【教育目標】

看護学科と栄養健康学科の学生は、単にその領域の科目を学習するだけでなく、国家試験を経て人々の健康に直接関わる職業に就くことを社会から期待されています。その基本は、憲法 25 条にしめされているように国民が健康で文化的な生活を営むことができるよう、社会的使命を実践することにあります。本学部では、豊富な科学的専門的知識を習得するとともに大学生として幅広く学び、あらゆる年齢層のさまざまな健康状態の人々と接することができる豊かな人間性を育成することを教育目標としています。

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

看護栄養学部では、上記の教育目標を実現する意欲ある学生を求めています。本学部が求める学生像は以下のとおりです。

●いのちの尊さを理解し、まじめに努力する人
●人に対する思いやりを持ち、人の苦しみを共有できる人
●科学を重視し、適確に物事を行える人
●社会制度の変化に敏感かつ適正に対応できる人
●協調性があり、他の職種の人々とチーム医療のできる人

看　護　学　科	**【教育目標】** 看護学科では、生命の尊厳と人権の尊重を基本とし、生活する人々の健康問題の解決と生活の質の向上に向けて保健・医療・福祉を統合した看護ができる看護職、国際的視野をもち、専門職として看護の発展に自律的・創造的に貢献できる看護職の育成を目指しています。 そのため、「看護の対象である人間を理解し、生命の尊厳にもとづいた支援ができる能力」、「人々の健康状態を的確にとらえ、生活の質の向上を目指した看護ができる能力」、「保健・医療・福祉などの他の専門職の人々と連携しながら、看護の専門性を発揮した活動ができる能力」、「広い視野に立って考え、生涯に渡って学習を継続していくための基礎的な能力」を養うことを教育目標としています。 **【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】** 看護学科では、上記の教育目標を実現する意欲ある学生を求めています。本学科が求める学生像は以下のとおりです。 ●いのちを大切に思う心と人間を深く理解しようとする姿勢を持っている人 ●疑問を持ち、自分から問題に取り組む意欲を持っている人 ●ものごとを科学的に追究し、計画的に行動できる人 ●人間の多様性を認め、柔軟かつ建設的に考え行動できる人 ●人々との共同作業において協調性があり、率先して活動ができる人 **【入学者選抜の基本方針】** 看護学科では、一般入試（前期日程、後期日程）、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般入試（前期日程、後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（５教科６科目又は７科目）を課すとともに、小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接で、調査書等の出願書類を参考に、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●推薦入試 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●推薦入試（離島看護師特別枠） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（５教科６科目又は７科目）を課すとともに、面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。

	●帰国子女入試 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人入試 小論文で、高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生入試 面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性、日本語による会話的表現力等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。
栄養健康学科	**【教育目標】** 生命科学に立脚した「食と健康」に関する専門的知識や技能を保持した、健康社会実現のために社会の幅広い分野で貢献できる管理栄養士を育成します。特に、「地域の人々の健康と福祉の向上に貢献できる問題解決能力を持った人材」、「人々の健康維持・増進と疾病の予防・回復に貢献できる栄養マネジメント・アセスメント能力を持った人材」、「食品開発、食糧資源の有効利用、食品衛生管理などの分野で活躍できる人材」や「次世代社会を拓く子供たちの食育を担う人材」育成等を教育目標としています。 **【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】** 栄養健康学科では、上記の教育目標を実現する意欲ある学生を求めています。本学科が求める学生像は以下のとおりです。 ●身近な「食と健康」を通して健康・福祉社会の創出に貢献したい人 ●保健・医療・健康分野や県や市町村などの管理栄養士を志す人 ●食品開発、食品の安全性や機能性などに興味を持っている人 ●子供たちの食育を通して健康生活づくりに寄与したい人 ●生命科学に根ざした「食と健康」を科学するスペシャリストになりたい人 **【入学者選抜の基本方針】** 栄養健康学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般入試（前期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（５教科７科目）を課すとともに、個別学力検査で、高等学校で得た化学の基本的な知識と理解力について評価します。 ●一般入試（後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（５教科６科目又は７科目）を課すとともに、個別学力検査（面接）で、志望動機や将来の展望などとともに、高等学校の一般的学習を前提とした栄養・健康・生命科学に関する時事的諸問題についての理解力や理科学的思考などを総合的に問います。 ●推薦入試 和文及び英文の小論文で、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接で、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望、高校生活等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に判断します。 ●帰国子女入試 小論文で、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価します。英語に関する問題も含みます。 面接で、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望、高校生活等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。 ●社会人入試 小論文で、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価します。英語に関する問題も含みます。 面接で、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望、高校生活等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。 ●私費外国人留学生入試 学力試験では、化学の基本的な知識と理解力について評価します。 面接で、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。

【目　　次】

１．募集人員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

２．出願要件等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

３．出願手続　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

４．選抜方法等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７

５．合格発表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９

６．入学手続　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

７．初年度納付金等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

８．入試情報の開示　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

９．評価・合否判定基準　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

１０．高等学校等コード表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６

１．募集人員

（単位：人）

<table>
<tr><th rowspan="3">学部</th><th rowspan="3">学　　科</th><th rowspan="3">募集人員</th><th colspan="7">区　　分</th></tr>
<tr><th colspan="4">長崎県内高等学校</th><th colspan="2">長崎県外高等学校</th><th rowspan="2">アカウンティングプログラム枠</th></tr>
<tr><th>普通科</th><th>専門学科</th><th>総合学科</th><th>離島高校</th><th>普通科等</th><th>商業科・総合学科等</th></tr>
<tr><td rowspan="3">経済</td><td>経　　済</td><td>50</td><td>17</td><td>10</td><td>5</td><td>2</td><td>10</td><td>6</td><td></td></tr>
<tr><td>地 域 政 策</td><td>50</td><td>17</td><td>10</td><td>5</td><td>2</td><td>10</td><td>6</td><td></td></tr>
<tr><td>流 通 ・ 経 営</td><td>53</td><td>17</td><td>10</td><td>5</td><td>2</td><td>10</td><td>6</td><td>3</td></tr>
<tr><td rowspan="2">国際情報</td><td>国 際 交 流</td><td>25</td><td colspan="4">20（区分なし）</td><td colspan="2">5（区分なし）</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>情報メディア</td><td>14</td><td colspan="4">12（区分なし）</td><td colspan="2">2（区分なし）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">看護栄養</td><td rowspan="3">看　　護</td><td rowspan="3">16</td><td colspan="4">普通科（衛生看護科以外の科）　13</td><td colspan="3" rowspan="4"></td></tr>
<tr><td colspan="4">離島看護師特別枠（区分なし）　2</td></tr>
<tr><td colspan="4">衛生看護科　1</td></tr>
<tr><td>栄 養 健 康</td><td>10</td><td colspan="4">10（区分なし）</td></tr>
</table>

※情報メディア学科及び栄養健康学科の推薦入試の募集人員には、特別選抜（帰国子女・社会人・私費外国人留学生）の募集人員（若干名）を含みます。

※看護栄養学部は長崎県内高等学校のみとなります。

２．出願要件等

経済学部

（１）**長崎県内高等学校（離島高校区分を除く）**

次の①～③のすべてに該当する者

①長崎県内の高等学校を平成２７年３月卒業見込みの者

②**【普通科】**

普通科のほか、理数科、英語科など本学が普通科に準ずると認める学科を対象とします。

次に該当する者で、人物・学力ともに特に優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者

（ア）調査書の全体の評定平均値が**3.8以上**の者

【専門教育を主とする学科】

次の各号のいずれかに該当する者で、人物・学力ともに特に優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者

（ア）調査書の全体の評定平均値が**4.0以上**の者

（イ）調査書の全体の評定平均値が**3.5以上4.0未満**の者で、次の検定試験のいずれかに合格している者

ⅰ．日本商工会議所主催簿記検定試験２級以上

ⅱ．公益財団法人全国商業高等学校協会主催簿記実務検定試験第１級

ⅲ．経済産業省主催基本情報技術者試験

ⅳ．公益財団法人全国商業高等学校協会主催情報処理検定試験第１級

ⅴ．公益財団法人日本英語検定協会主催実用英語技能検定２級以上

【総合学科】

次に該当する者で、人物・学力ともに特に優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者

（ア）調査書の全体の評定平均値が**4.0以上**の者

③合格した場合には本学に入学することを確約できる者

（2）**長崎県外高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ）**

次の①～③のすべてに該当する者

①長崎県外の高等学校を平成２７年３月卒業見込みの者

②**【普通科等】**

普通科のほか、理数科、英語科など本学が普通科に準ずると認める学科及び下記の「商業科・総合学科等」の区分に属さない学科を対象とします。

次に該当する者で、人物・学力ともに特に優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者

（ア）調査書の全体の評定平均値が**3.8以上**の者

【商業科・総合学科等】

この区分は、商業高校の全科を含みます。また、総合学科等に所属し、商業に関する科目を**20単位以上**修得した者（又は修得見込みの者）を対象とします。

※総合学科以外の学科でも、商業に関する科目を２０単位以上修得した者（又は修得見込みの者）は、【商業科・総合学科等】区分での出願となります。

次の各号のいずれかに該当する者で、人物・学力ともに特に優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者

（ア）調査書の全体の評定平均値が**4.0以上**の者

（イ）調査書の全体の評定平均値が**3.5以上4.0未満** の者で、次の検定試験のいずれかに合格している者

ⅰ．日本商工会議所主催簿記検定試験２級以上

ⅱ．公益財団法人全国商業高等学校協会主催簿記実務検定試験第１級

ⅲ．経済産業省主催基本情報技術者試験

ⅳ．公益財団法人全国商業高等学校協会主催情報処理検定試験第１級

ⅴ．公益財団法人日本英語検定協会主催実用英語技能検定２級以上

③合格した場合には本学に入学することを確約できる者

（3）**アカウンティングプログラム枠**

次の①～③のすべてに該当する者

①高等学校を平成２７年３月卒業見込みの者

②所属する科（「普通科等」または、「商業科・総合学科等」）に応じた以下の要件を満たすこと。

※ 所属する学科で区分は分かれません。

＜普通科等＞

普通科のほか、理数科、英語科など本学が普通科に準ずると認める学科及び下記の「商業科・総合学科等」に属さない学科を対象とします。

次に該当する者で、人物・学力ともに特に優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者

（ア）「国語」、「数学」、「外国語」の３教科の評定平均値の平均が**4.3以上**の者

＜商業科・総合学科等＞

商業高校の全科が対象となります。また、総合学科等に所属し、商業に関する科目を**20単位以上**修得した者（又は修得見込みの者）も対象とします。

次の各号すべてに該当する者で、人物・学力ともに特に優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者

（ア）調査書の全体の評定平均値が**4.3以上**の者

（イ）日本商工会議所主催簿記検定試験２級以上に合格している者

③合格した場合には本学に入学し、特別プログラム「アカウンティングプログラム」に所属することを確約できる者

アカウンティングプログラムの概要

アカウンティングプログラムでは、学部段階においての税理士等試験への合格を目指すとともに、さらに大学院までの一貫教育も行い、会計分野のエキスパートを養成することを目標としています。

当該プログラムは、税理士等の会計エキスパートを目指す学生のための特別プログラムです。カリキュラムでは、会計科目や租税科目を体系的に整備し、履修モデルによる受講を勧めています。当プログラムは活発な課外活動を重要視しており、課外活動への参加が義務づけられます。課外活動には、課外講座と税理士受験対策活動があります。

課外講座（有料）として、税理士試験の会計科目簿記論講座を開講し、外部からの専門学校講師により週２回（９０分×４コマ分受講）行います。

税理士受験対策活動は、週１回（１８時～２０時）行います。この活動は、アカウンティングプログラム生を中心とした税理士試験対策等のための研究会で、担当教員やティーチングアシスタントが指導を行います。

また、自学自習のための専用学習室を設けたり、簿記・会計・税法の専用図書コーナーを図書館に設置しています。

夏休みの期間に、アカウンティングインターンシップ（税理士事務所等の仕事の体験学習）を行います。

（４）**１高等学校当たりの推薦できる人数**

〇長崎県内高等学校

①**【普通科】**１高等学校（分校を含む）につき**6名以内**とします。（各学科**3名**を上限）

②**【専門教育を主とする学科】**人数の制限をしません。

③**【総合学科】**１高等学校につき**6名以内**とします。（各学科**3名**を上限）

〇長崎県外高等学校

【普通科等】、【商業科・総合学科等】の両区分とも、１高等学校（分校を含む）につき**6名以内**とします。（各学科**3名**を上限）

〇アカウンティングプログラム枠

１高等学校（分校を含む）につき**2名以内**とします。

※**【アカウンティングプログラム枠】**に出願した者は、経済学部の他の区分（長崎県内離島高校区分を除く）に併願することができます。併願先の区分において、１高等学校当たりの推薦できる人数は、**枠外**の扱いとします。

国際情報学部 ・ **看護栄養学部**

（１）**長崎県内高等学校**

次の①～⑤のすべてに該当する者

①長崎県内の高等学校を平成２７年３月卒業見込みの者（平成２６年度学年の途中において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む）

②志願者が在籍する高等学校長が責任を持って推薦できる者

③志願者は、人物・学力ともに優秀で、志望学科に対し適性を有する者

④志願者は、本学の推薦入試に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者

⑤調査書の全体の評定平均値が**3.8以上**である者

（２）**長崎県内高等学校【離島看護師特別枠】**※看護学科のみ

次の①～⑥をすべて満たしている者

①長崎県内の高等学校（離島部に地域を限定しない）を平成２７年３月卒業見込みの者（平成２６年度学年の途中において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む）

②離島医療を担う看護師を志し、人物・学力ともに優秀で、看護学科に対し適性を有し、長崎県の離島医療に貢献することを高等学校長が責任を持って推薦できる者

③長崎県病院企業団の離島の病院（五島中央病院、上五島病院、対馬いづはら病院）又は長崎県壱岐市（壱岐市民病院）の修学資金(注)の貸与を受け、その制度に基づき、卒業後は、当該病院に勤務することを確約できる者（修学資金の貸与を受けることを前提とした長崎県病院企業団企業長（若しくは長崎県病院企業団の離島の病院長）又は壱岐市長の推薦書を出願書類と併せて提出すること）

※修学資金の貸与については、別途申込期日があるので確認をすること。

④平成２７年度大学入試センター試験の教科・科目のうち、本学が指定する教科・科目をすべて受験する者

⑤志願者は、本学の離島看護師特別枠入試に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者

⑥調査書の全体の評定平均値が**3.8以上**である者

（注）**【離島看護師特別枠】**修学資金貸与

長崎県病院企業団等の修学資金について

出願要件となる修学資金の貸与に関するお問い合わせ先は、以下のとおりです。

・長崎県病院企業団本部 総務部総務人事班　　ＴＥＬ　095-825-2255
・長崎県五島中央病院 総務課総務係　　ＴＥＬ　0959-72-3181
・長崎県上五島病院 総務課総務係　　ＴＥＬ　0959-52-3000
・長崎県対馬いづはら病院 総務課総務係　　ＴＥＬ　0920-52-1910
・壱岐市役所　病院管理課　　ＴＥＬ　0920-47-6667

（３）**長崎県内高等学校の【衛生看護科】**　※看護学科のみ

衛生看護科から看護学科への志願者については、次の①～④のすべてに該当する者

①長崎県内の高等学校の衛生看護科を平成２７年３月卒業（修了）見込みの者（平成２６年度学年の途中において又は学期の区分に従い高等学校の卒業（修了）を認められた者を含む）

②志願者が在籍する高等学校長が責任を持って推薦できる者

③志願者は、人物・学力ともに優秀で、志望学科に対し適性を有する者

④志願者は、本学の推薦入試に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者

（４）**長崎県外高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ）**　※国際情報学部のみ

次の①～⑤のすべてに該当する者

①長崎県外の高等学校を平成２７年３月卒業見込みの者（平成２６年度学年の途中において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む）

②志願者が在籍する高等学校長が責任を持って推薦できる者

③志願者は、人物・学力ともに優秀で、志望学科に対し適性を有する者

④志願者は、本学の推薦入試に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者

⑤調査書の全体の評定平均値が**3.8以上**である者

（５）**１高等学校当たりの推薦できる人数**

・１高等学校（分校を含む）につき各学科**2名以内**とします。
・**【離島看護師特別枠】**は、１高等学校につき**1名**とします。
・**【衛生看護科】**は、１高等学校につき**2名以内**とします。

３．出願手続

（１）出願期間　　平成２６年１１月１日（土）～１１月１０日（月）　**必着**

（２）出願方法

①出願書類は、志願者ごとに所定の出願用封筒に入れたうえで、高等学校長が取りまとめ、本学が指定する出願先へ郵送又は持参してください。

②郵送の場合は、必ず**「簡易書留・速達」**としてください。また、封筒の表面に**「推薦入試出願書類○名分在中」**と朱書きし、裏面には高等学校名及び住所を記入してください。

③持参の場合の受付時間は、平日の午前９時から午後５時までとします。

（３）出願先

経　済　学　部	〒858-8580	長崎県佐世保市川下町１２３番地 長崎県立大学佐世保校　学生支援課学生グループ
国際情報学部 看護栄養学部	〒851-2195	長崎県西彼杵郡長与町まなび野１丁目１番１ 長崎県立大学シーボルト校　学生支援課学生グループ

（４）出願書類等

経済学部用と国際情報学部・看護栄養学部用がありますので、志望する学部のものを使用してください。

書類等		作成方法等
Ａ票	平成２７年度 長崎県立大学志願票 ＜全学部＞	①本学所定の様式に必要事項をもれなく記入してください。 ②経済学部へ出願する者は、**白色**(**アカウンティングプログラム枠へ出願する者は、橙色**)の様式を使用してください。 国際情報学部、看護栄養学部へ出願する者は、**黄色**の様式を使用してください。 ③経済学部【アカウンティングプログラム枠】と経済学部のその他の区分を併願する場合は、**橙色**と**白色**の両方の様式を使用してください。 ④出願前３ヶ月以内に撮影したカラー写真の裏面に志望学科、氏名を記入し、写真貼付欄に貼付してください。（上半身、無帽、正面向き、背景無し、縦４cm×横３cm）
Ｂ票	推薦書 ＜全学部＞	①本学所定の様式により、高等学校長が作成し、厳封してください。 ②本学ホームページ上（入試情報／学部入試／入学者選抜要項・募集要項）でダウンロードし作成することもできます。ただし、その場合は必ず**両面印刷**をして使用してください。 ③経済学部【アカウンティングプログラム枠】と経済学部のその他の区分を併願する場合も「推薦書」は１通のみ提出してください。
	調査書 ＜全学部＞	①文部科学省所定の様式により、高等学校長が作成し、厳封してください。 ②経済学部【アカウンティングプログラム枠】と経済学部のその他の区分を併願する場合も「調査書」は１通のみ提出してください。
Ｃ票	志望理由書 ＜国際情報学部＞ ＜看護栄養学部＞	①国際情報学部、看護栄養学部へ出願する者は作成してください。 ②志願者本人が自筆で作成してください。
	検定試験関係書類 ＜経済学部＞	経済学部の以下の要件で出願する者は、当該検定試験の合格証の写しを添付してください。 ①長崎県内高等学校**【専門教育を主とする学科】**の（イ） ②長崎県外高等学校**【商業科・総合学科等】**の（イ） ③**【アカウンティングプログラム枠】**＜商業科・総合学科等＞の（イ）

	離島看護師特別枠推薦書 ＜看護学科＞ ※離島看護師特別枠志願者のみ	修学資金の貸与を受けることを前提とした長崎県病院企業団企業長（若しくは長崎県病院企業団の離島の病院長）又は壱岐市長の推薦書
D票	写真票 ＜全学部＞	①本学所定の様式に必要事項をもれなく記入してください。 ②経済学部へ出願する者は、**白色（アカウンティングプログラム枠へ出願する者は、橙色）**の様式を使用してください。 国際情報学部、看護栄養学部へ出願する者は、**黄色**の様式を使用してください。 ③経済学部【アカウンティングプログラム枠】と経済学部のその他の区分を併願する場合は、**橙色**と**白色**の両方の様式を使用してください。 ④出願前３ヶ月以内に撮影したカラー写真の裏面に志望学科、氏名を記入し、写真貼付欄に貼付してください。（上半身、無帽、正面向き、背景無し、縦４cm×横３cm）
E票	受験票 ＜全学部＞	
F票	検定料納付証明書 貼付票 ＜全学部＞	①「振込依頼書」については、経済学部へ出願する者は、**白色（アカウンティングプログラム枠へ出願する者は、橙色）**の様式を使用してください。 国際情報学部、看護栄養学部へ出願する者は、**黄色**の様式を使用してください。 ②経済学部【アカウンティングプログラム枠】と経済学部のその他の区分を併願する場合は、**橙色**と**白色**の両方の様式を使用して納付し、両方の様式を提出ください。 ③振込期間：**平成26年10月24日（金）～11月10日（月）** ④振込手数料は、志願者が負担してください。 ⑤金融機関の窓口（ゆうちょ銀行、郵便局を除く）にて所定の振込依頼書により**17，000円**を納付し、検定料納付証明書（③票）を貼付してください。
G票	宛名シール ＜全学部＞	郵便番号、住所、氏名を記入し、切り取り線①、②を切り離してください。
H票	受験票送付用封筒 ＜全学部＞	郵便番号、住所、氏名を記入し、６７２円分の切手を貼付してください。
Ｉ票	出願用封筒 ＜全学部＞	①志望学科に○印を付けてください。 ②封筒裏面の出願書類チェック表で提出書類を確認してください。

※被災その他の事情により調査書が得られない場合には、学生支援課学生グループに申し出てください。

（５）出願上の注意事項

①国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）への出願は、一つの大学・学部のみです。本学看護学科推薦入試内（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）での併願はできません。

②出願書類の記入に当たっては、楷書で正しく明確に記入してください。また、黒色のボールペンで記入してください。

③出願書類がすべてそろっていない場合には受付できませんので、出願の際には十分確認してください。

④出願受付後の記入事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、学生支援課学生グループに連絡してください。

⑤受験票は、出願受理後に本人あてに送付します。選抜期日が近づいても受験票が届かない場合は、学生支援課学生グループにお問い合わせください。

⑥入学を許可した後であっても、提出された出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。

⑦一度受理した出願書類は返却しません。
⑧既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
（ア）出願書類を提出しなかった場合
（イ）出願が受理されなかった場合
（ウ）二重に振り込んだ場合
（エ）【アカウンティングプログラム枠】と経済学部の他の区分を併願し、【アカウンティングプログラム枠】に合格した場合
※上記理由による当該検定料相当額の返還の申し出は、出願期間の最終日から４０日以内とします。

（６）身体に障害のある入学志願者との協議

身体に障害のある入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、平成２６年１０月１０日（金）までに、学生支援課学生グループに申し出てください。

なお、必要な場合は、本人又はその立場を代弁できる出身学校関係者との面接や医師の診断書等の提出をお願いすることがあります。

４．選抜方法等

入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し（看護学科離島看護師特別枠は除く）、提出された推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合的に判定して行います。

（１）**経済学部**

①選抜期日・試験時間等

【アカウンティングプログラム枠】

科目等	選抜期日	試験時間
小論文	平成２６年１１月２２日（土）	１０：００～１１：３０（９０分）
面接	平成２６年１１月２２日（土）	１３：００～１７：００（予定）

【アカウンティングプログラム枠】及び【長崎県内離島高校区分】を除く全区分

科目等	選抜期日	試験時間
小論文	平成２６年１１月２９日（土）	１０：００～１１：３０（９０分）
面接	長崎県外高等学校区分： 平成２６年１１月２９日（土）	１３：００～１７：００（予定）
	長崎県内高等学校区分： 平成２６年１１月３０日（日）	１０：００～１４：００（予定）

※受験者は９時００分から９時４０分までに受験者控室に入室し、待機してください。

②科目等の配点

区分	小論文	面接	合計
長崎県内外高等学校の推薦 （アカウンティングプログラム枠除く）	100 点	25 点	125 点
アカウンティングプログラム枠	50 点	50 点	100 点

③試験場

長崎県立大学佐世保校　　長崎県佐世保市川下町１２３番地

（２）　**国際情報学部**　・　**看護栄養学部**

①選抜期日・試験時間等

科目等	選抜期日	試験時間
小論文	平成２６年１１月２９日（土）	１０：００～１１：３０（９０分）
面接		１２：３０～１７：００（予定）

※小論文試験は試験開始時刻の２０分前までに指定された教室に入室し、着席してください。

※面接試験は試験開始時刻までに、決められた面接控室に入室し、待機してください。

なお、面接試験開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。

②科目等の配点及び【離島看護師特別枠】大学入試センター試験の利用教科・科目

学科	小論文	面接	合計
国際交流	80 点	20 点	100 点
情報メディア	75 点	25 点	100 点
看護（離島看護師特別枠以外）	80 点	20 点	100 点
栄養健康	100 点	100 点	200 点

【離島看護師特別枠】大学入試センター試験（５教科６科目又は７科目）						個別学力検査等	
教科	国語	地理歴史・公民※	数学	理科※	外国語※	面接	合計
科目	国語	世界史Ｂ 日本史Ｂ 地理Ｂ 現代社会 倫理 政治・経済 倫理、政治・経済 から１科目	「数学Ⅰ・数学A」 「旧数Ⅰ・旧数A」 から1科目 と 「数学Ⅱ・数学B」 「旧数Ⅱ・旧数B」 から1科目	①:物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 ②:物理, 化学, 生物, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ ①から２科目又は ②から１科目	英語		
配点	200	100	200	100	200	100	900

※注意事項:大学入試センター試験の利用方法について

Ⅰ.「地理歴史・公民」について、２科目受験した場合は、第１解答科目を合否判定に用います。

Ⅱ.「理科」の基礎を付さない科目について、２科目受験した場合は、第１解答科目を合否判定に用います。

Ⅲ.「外国語」の英語は、筆記試験（２００点満点）とリスニングテスト（５０点満点）の合計得点（２５０点満点）を２００点満点に換算します。

③試験場

長崎県立大学シーボルト校　　長崎県西彼杵郡長与町まなび野１丁目１番１

（３）受験上の留意事項

①小論文試験開始後は、２０分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。

②本学が指定した科目等をすべて受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。

③当日は、受験票を必ず持参してください。

④当日に受験票を忘れた者は、速やかに申し出て、係員の指示に従ってください。

⑤小論文試験の実施時に、受験票を試験監督者が見えるよう机上に置いてください。

⑥小論文の試験時間中に使用を許可するものは、鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能のみのもの）に限ります。

⑦不正行為をした者及び試験監督者の指示に従わない者は、直ちに退場させます。なお、その場合、失格となることがあります。

⑧携帯電話等の電子機器の使用は禁止しますので、電源を必ず切ってかばん等に入れておいてください。

⑨試験時間中は、受験者間の物品の貸借は一切認めません。

⑩面接試験終了時間は未定です。公共交通機関や宿泊所の利用については、十分注意して予約等を行ってください。

⑪昼食ができる場所は別途指示します。

⑫試験場には、受験者用駐車場がありませんので、公共交通機関を利用してください。

⑬試験前日の午後に限り試験場の下見はできますが、建物内への立ち入りはできません。

⑭その他必要な事項が生じた場合には、受験票送付の際に併せて通知します。

５．合格発表

（１）合格発表日　　平成２６年１２月５日（金）　　午前１０時

平成２７年２月１０日（火）　　午前１０時（離島看護師特別枠）

経済学部【アカウンティングプログラム枠】受験者については、平成２６年１１月２６日（水）に受験者が在学する高等学校長あてに受験結果通知書を発送します。

（２）合格発表方法

①合格発表日に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者へ合格通知書をその日に速達で発送します。また、受験者が在学する高等学校長あてに受験結果通知書を発送します。

※本学では合格通知を無料で行っており、受験者に送料等を請求することはありませんので、注意してください。

②掲示場所

・経済学部　　長崎県立大学佐世保校本館玄関前ロビーに掲示

・国際情報学部、看護栄養学部　　長崎県立大学シーボルト校学生支援課前に掲示

③本学ホームページに合格者の受験番号を掲載します。

・ホームページアドレス　　http://sun.ac.jp/

※ホームページ上の合格発表は補助的なサービスです。必ず合格通知書で確認してください。

④電話等での問い合わせには一切応じません。

６．入学手続

（１）入学手続期間　平成２６年１２月８日（月）～１２月１６日（火）　**必着**
　　平成２７年２月１２日（木）～　２月１８日（水）　**必着（離島看護師特別枠）**

（２）入学手続先

経 済 学 部	〒858-8580	長崎県佐世保市川下町１２３番地 長崎県立大学佐世保校　学生支援課学生グループ
国際情報学部 看護栄養学部	〒851-2195	長崎県西彼杵郡長与町まなび野１丁目１番１ 長崎県立大学シーボルト校　学生支援課学生グループ

（３）入学手続方法
①入学手続の詳細及び必要な書類は、合格通知書とともに送付します。
②提出書類は、郵送又は大学窓口へ直接持参してください。
③郵送の場合は、必ず「書留速達」とし、入学手続期間内必着とします。
④持参の場合の受付時間は、平日の午前９時から午後５時までとします。

（４）留意事項
①推薦入試の合格者が入学を辞退することは基本的に認められませんが、特別の事情がある場合は、推薦した高等学校長が連署し、理由を付した「推薦入学辞退願」（任意様式）を平成２６年１２月１６日（火）※午後５時まで（必着）に本学学長あてに提出してください。
※離島看護師特別枠については平成２７年２月１８日（水）
②推薦入試に合格し、入学手続を行った者は、入学辞退の許可を得た場合を除き、他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）を受験しても合格者にはなれません。
③推薦入試の合格者で、平成２６年１２月１６日（火）※までに入学手続を完了しない者は、合格者としての権利を消失します。この場合、国公立大学の個別学力検査に出願しても、合格者にはなれません。※離島看護師特別枠については平成２７年２月１８日（水）
④経済学部、国際情報学部の入学手続完了者に対しては、入学前教育を実施します。

７．初年度納付金等　《保護者の方にも目を通してもらってください》

（１）入学料
入学手続の際には、下記の金額の入学料を納付する必要があります。
①県内生　　１７６，５００円
②県外生　　３５３，０００円
（注１）「県内生」とは、本人又はその配偶者若しくは一親等の血族が、平成２６年４月１日から引き続き長崎県内に住所を有する者をいいます。
（注２）入学料の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。
（注３）入学料は、入学手続期間内（平成２６年１２月８日～１２月１６日※）に納付してください。
※離島看護師特別枠については平成２７年２月１２日～２月１８日
（注４）既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

（２）授業料

前　　期	後　　期	年　　額
２６７，９００円	２６７，９００円	５３５，８００円

（注１）授業料の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。
（注２）授業料は入学後に納付していただきます。詳細については、入学手続書類とともに送付します。
（注３）在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

（３）その他納付金

学　　部	後援会費	同窓会費	学生自治会費	学生保険料
経　　済	５０，０００円	１２，０００円	３３，０００円	４，６６０円
国際情報 看護栄養	５０，０００円	１０，０００円	２９，５００円	４，６６０円～

（注）その他納付金の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

（４）実習等経費
実習、実験等の経費が別途必要となることもあります。

（５）その他
①奨学金
独立行政法人日本学生支援機構が貸与する奨学金には、第一種奨学金（無利子貸与）と第二種奨学金（有利子貸与）があり、その貸与月額は、次表のとおりとなっています。第二種奨学金の貸与を受けた者は、その貸与額に対し年３％（上限金利）の利息がつくことになっています。この他にも、地方公共団体等の奨学金制度があります。

種　　類	貸　与　月　額（平成２６年度実績）	
	自宅通学者	自宅外通学者
第一種奨学金	30,000 円　45,000 円 （２種類から選択）	30,000 円　51,000 円 （２種類から選択）
第二種奨学金	30,000 円　50,000 円　80,000 円　100,000 円　120,000 円 （５種類から選択）	

②授業料の減免
学業優秀と認められた学生で、家庭の経済事情（生活保護家庭等）又は不測の災害などのため、授業料の納付が著しく困難な学生に対する授業料の減免制度があります。
③経済学部流通・経営学科アカウンティングプログラム向けの税理士試験対策課外講座については、費用が別途かかります。
④国際情報学部入学者全員に一定の基準にあったノート型パソコンを準備していただく予定です。
（詳細は入学後に説明します）
⑤国際交流学科は短期海外語学研修の費用が別途かかります。
⑥入学予定者には、入学前に TOEIC テストを受験していただく予定です。

⑦下宿・アパートについては、本学大学生活協同組合で相談に応じます。

ＴＥＬ　佐　世　保　校　　０９５６－４８－３７３２

シーボルト校　　０９５－８８７－５５５２

８．入試情報の開示

（１）個人成績の開示

平成２７年度推薦入試受験者の個人成績を受験者本人に限り開示します。

①申請期間　　平成２７年５月１日（金）から平成２７年５月２９日（金）まで
（平日の午前９時から午後５時まで）

②申請方法　　経済学部は佐世保校、国際情報学部及び看護栄養学部はシーボルト校の学生支援課窓口にて、所定の用紙により申請してください。（本人を確認する書類等の提示が必要です）

③開示内容　　（ア）小論文及び面接の得点
（イ）大学入試センター試験の教科ごとの得点
（本学が判定に使用した教科のみ）
（ウ）（ア）＋（イ）の総得点及び順位
（エ）調査書（「指導上の参考となる諸事項」及び「備考」欄を除く）

（２）合格者の成績

平成２７年度推薦入試合格者の小論文、面接、総得点の最高点、最低点、平均点を平成２７年５月１日（金）から開示します。ただし、合格者が１０名未満の学科については、開示しません。

（３）前年度の入試状況

学部	学科	区分		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済	経済	県内	普通科	17	24	24	19
			専門学科	10	7	7	6
			総合学科	5	3	3	3
			離島高校	2	1	1	3
		県外	普通科等	10	20	20	18
			商業・総合	6	4	4	4
		学科計		50	59	59	53
	地域政策	県内	普通科	17	33	33	18
			専門学科	10	6	6	5
			総合学科	5	7	7	4
			離島高校	2	6	6	4
		県外	普通科等	10	31	31	17
			商業・総合	6	7	6	3
		学科計		50	90	89	51

経済	流通・経営	県内	普通科	17	21	21	17
			専門学科	10	9	9	6
			総合学科	5	4	4	4
			離島高校	2	1	1	1
		県外	普通科等	10	26	26	17
			商業・総合	6	10	10	7
		学科計		50	71	71	52
	学部計			150	220	219	156
国際情報	国際交流	県内		20	24	24	17
		県外		5	17	17	10
		学科計		25	41	41	27
	情報メディア	県内		12	19	19	9
		県外		2	12	12	6
		学科計		14	31	31	15
	学部計			39	72	72	42
看護栄養	看護	県内	普通科	13	37	37	13
			離島看護師特別枠	2	5	5	2
			衛生看護科	1	1	1	0
		学科計		16	43	43	15
	栄養健康	県内		10	26	26	10
		学科計		10	26	26	10
	学部計			26	69	69	25
大学合計				215	361	360	223

※経済学部長崎県内離島高校区分は第２志望学科の合格者を含みます。

９．評価・合否判定基準

（１）評価基準等

学部	学科		科目等	評価基準	配点
経済	経済 地域政策 流通・経営		小論文	課題に対する理解力、考察力、論理的思考力及び記述力等を評価する。	100 点
			面接	調査書等の出願書類を参考に、本学進学の目的意識、学習意欲、社会経済への関心度等を評価する。	25 点
		ｱｶｳﾝﾃｨﾝｸﾞﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ枠	小論文	設問に対する理解力、分析力、論理的思考力、読解力などを評価する。	50 点
			面接	調査書等の出願書類を参考に、目的意識、学習意欲、学科が提供する専門分野に対する適性などを評価する。	50 点
国際情報	国際交流		小論文	高等学校で得た基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、思考力、表現力等を評価する。	80 点

国際情報	国際交流	面接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、勉学意欲、基礎知識、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価する。	20 点
	情報メディア	小論文	高等学校の一般的学習を前提に、現代社会の時事的諸問題についての理解力、論理的思考能力、論述能力をみる。	75 点
		面接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、勉学意欲、基礎知識、表現力、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価する。	25 点
看護栄養	看護	小論文	高等学校で習得される程度の基礎学力を前提にして、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価する。	80 点
		面接	複数の面接官による個人面接を行う。志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性等本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価する。	20 点
	離島看護師特別枠	面接	複数の面接官による個人面接を行う。志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性等本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価する。	100 点
		大学入試センター試験	国語、地歴・公民、数学、理科、外国語	800 点
	栄養健康	小論文	（英語に関する問題を含む） 課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価する。	100 点
		面接	志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望、高校生活等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価する。 面接は、集団又は個人面接を行う。	100 点

（2）合否判定基準

学部	学科	合否判定基準
経済	経済 地域政策 流通・経営	①小論文と面接の総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 ②合格者の最下位者が同点で複数名いる場合は、全員合格とする。
	ｱｶｳﾝﾃｨﾝｸﾞﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ枠	①小論文と面接の総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 ②同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。
国際情報	国際交流	①小論文と面接の総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 ②同点の場合は、小論文の得点が高い者を上位とする。

国際情報	情報メディア		①小論文と面接との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。 ③小論文、面接のいずれかの得点が著しく低い者については、個別に検討して合否を決定する。
看護栄養	看護		①小論文と面接との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 ②同点の場合は、小論文の得点が高い者を上位とする。
		離島看護師特別枠	①大学入試センター試験と面接との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 ②同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。
	栄養健康		①小論文と面接の総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 ②同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。